

営農情報

2018
7月号 No.70



J Aレーク伊吹 経済部 営農企画課
TEL 0749-63-2101 FAX 0749-64-2085

訪問していますのは、元中 豊一郎です。
携帯 080-4643-6531

今月の話題

- ◆ 気象と生育状況から対策を立てよう
 - ・今年の気象状況・レーク伊吹管内の生育状況
- ◆ 高品質米生産に向けた対策
 - ・穂肥の適期適量散布・常時湛水管理
- ◆ 病虫害防除
- ◆ 刈払機使用による注意点



要件

- みずかがみ（全農基準）・コシヒカリ・特別栽培米コシヒカリで個袋及びフレコンにて出荷した検査等級が1等の米
- J A自主分析で、整粒80%以上・食味値80点以上の米

メモ

- ✓ ケット製穀類水分計
点検受付中 7月25日(水)まで
- ✓ 家庭菜園用肥料農薬申込受付中!

今年度よりJ Aレーク伊吹では新たな水田野菜の振興を図るため、加工・業務用タマネギの生産拡大に取り組んでいます。

6月22日より加工・業務用タマネギの収穫が始まりました。収穫後J Aにて乾燥調製を行い出荷されます。



収穫作業

J Aにて乾燥調製・出荷

気象と生育状況から対策を立てよう



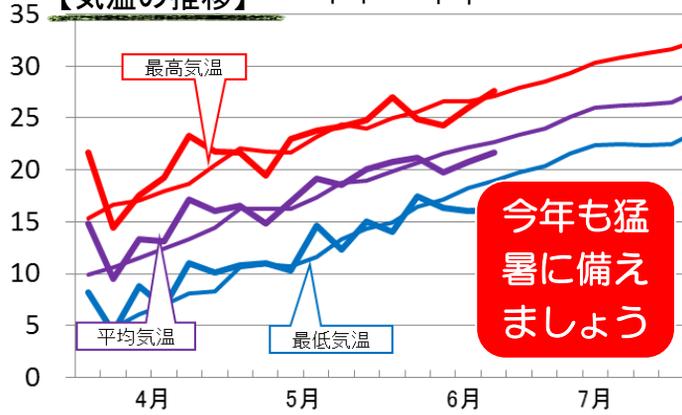
今年の気象状況

近畿地方の1か月予報 大阪管区気象台 (6/21)

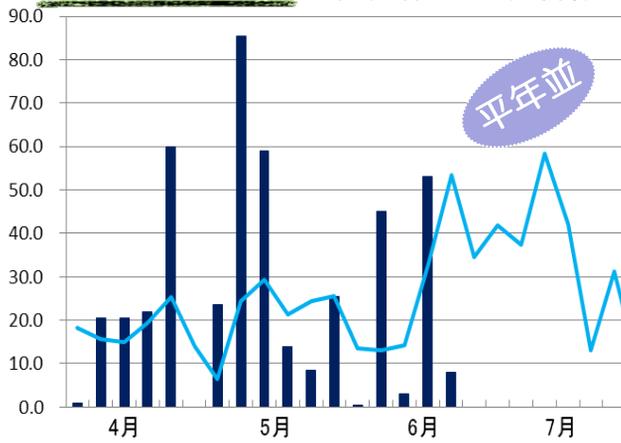
期間の前半は平年に比べ曇りや雨の日は少なく、後半は平年に比べ晴れの日が多い。
 平均気温：平年並みか高い見込み
 降水量：ほぼ平年並みの見込み
 日照時間：平年並みか多い見込み

※異常天候早期警戒情報 (6/28発表)
 7/3~12の間 平均気温かなり高い

【気温の推移】 〓本年 〓平年



【降水量の推移】 本年:棒 平年:折線

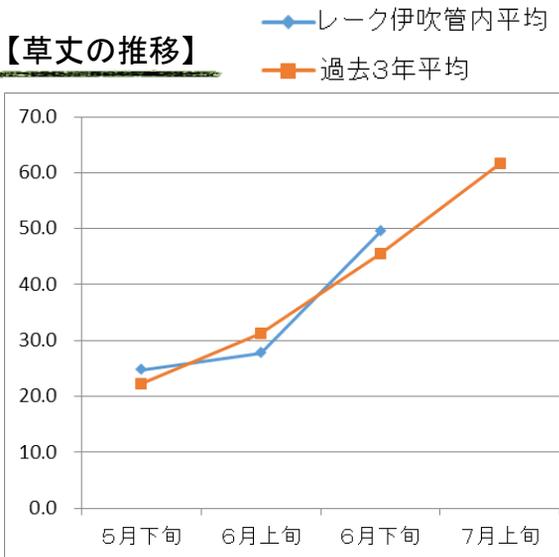


【日照時間の推移】 本年:棒 平年:折線

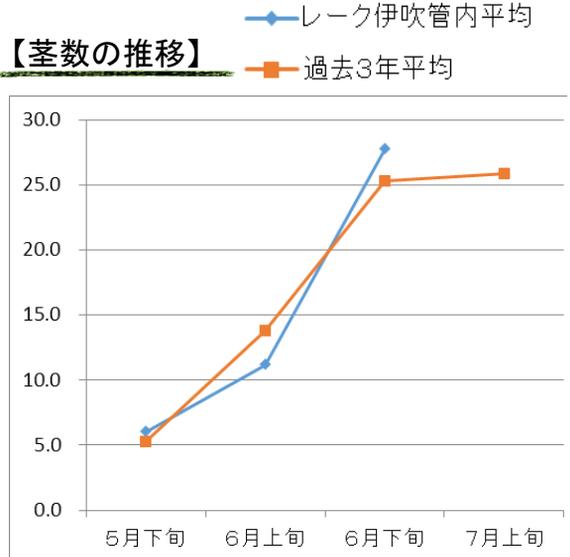


レーク伊吹管内の生育状況

【草丈の推移】



【茎数の推移】



- ✓ 草丈は平年並み、茎数は平年並み
- ✓ 活着の遅れと還元障害が出たことにより生育が抑制された圃場もみられる
- ✓ 移植日や圃場の条件により生育差が大きい。

高品質米生産に向けた対策

昨年は8月の日照不足により、心白粒・腹白粒の発生が多く見られました。活力の落ちた稲ほど発生が多いため、今後の管理が重要となってきます。

☑ 穂肥の適期適量散布

一般的な穂肥時期の目安



参考

昨年のコシカリの
出穂期 (長浜地域)
5月上旬植 7/23
5月中旬植 7/26

一般的な穂肥量について

コシカリは2回に分け窒素成分
で合計4.0Nkg施肥

コシカリ(湖辺・平坦)

株張り	葉色	出穂前日数と10a当り窒素量				
		-21日 (2mm)	-18日 (10mm)	-15日 (20mm)	-11日	-4日
大	濃					1~2kg
	淡		2kg			1~2kg
中 (標準)	濃			2kg		1kg
	淡		2kg			2kg
小	濃		2kg		1kg	
	淡	2kg		2kg		

確認①

株張り 茎数25本以上⇒大
60株/坪 20~25本 ⇒中
20本以下 ⇒小

確認②

葉色 葉色値
(カラススケール値)
3.5以上 濃 3.5未満 淡

注意

- 低コスト資材 伊吹ほのはな→NK化成C20へ変更！！
- NK化成C20の肥料成分
窒素：20% リン酸：0% カリ：10%
 - コシカリの施用量目安
1回目10kg (窒素2kg) 2回目10kg (窒素2kg)

【基肥一発肥料の対応】

2回目の穂肥時期になっても葉色が薄いままで登熟不良をおこすおそれがある場合、窒素成分で1kg/10aを施肥します。

☑ 常時湛水管理

湛水管理
品質up効果あり

① 出穂以降の
こまめな入水による
地温低下

湛水管理
パトロール実施

② 出穂前後3週間は
湛水管理



カドミウム吸収抑制対策のため、出穂前後各3週間の常時湛水管理を必ず実施しましょう！！

病害虫防除

情報

病害虫発生予報(6/19時点)

葉いもち・紋枯病ともに発生時期・発生量は平年並です。

病害	病状	防除ポイント	薬剤	散布時期
紋枯病		株元に病原を確認したら散布が効果的 特に昨年発生ほ場は注意!!	リンバー粒剤 	出穂前30日 ～出穂期まで
いもち病		発生が確認されたら、出穂3～4週間前 の散布が効果的	コラトップ粒剤5・ ジャンボP・豆つぶ 特裁	出穂30日前 ～5日前まで
斑点米 カメムシ		品質低下の要因 出穂2～3週間前と出穂期の2回の草 刈りが効果的	スタークル粉剤・液剤 粒剤 特裁	出穂期7～10日後 (粉剤・液剤) 出穂期7日後(粒剤)

最新の情報は営経渉外へお尋ねください。

刈払機使用による注意点

畔の草刈りはカメムシ対策に効果的です。7月に入り刈払機を使用する機会が多くなると思います。刈払機は草を刈る為の刈り刃が高速で回転してるので、使用方法を誤ると重大な事故に繋がります。

作業中の主な事故原因

①キックバック

刈払機では、回転する刃(前端から右側部分)に障害物が当たった場合、回転方向と反対側に刃が跳ね返ってしまいます。



②巻き付き

刈払機に草やひも等が巻き付く事があります。刃が再び回り出して手を切る恐れがあります。必ずエンジンを止めて取り除きましょう

③飛散物

作業場所に空き缶等のごみや障害物があると刈刃に当たって飛散し、作業員や周囲の人の負傷事故に繋がります。

作業中の注意点

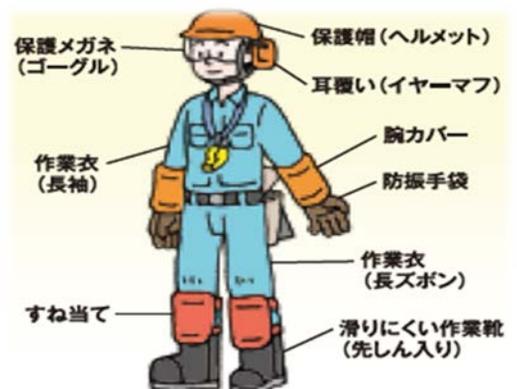
●作業前に行う事

- ◆作業に適した作業服と保護具を扱う。
- ◆作業前に各部の点検をする
- ◆作業前に作業現場の障害物を取り除いておく

●作業中に気をつける事

- ◆作業中は15m以内に人を近付けない
- ◆刈り刃の位置は、安全に切断できる部分で行う
- ◆傾斜地での作業は足場を確認しましょう

●作業に適した作業服・保護具



草刈り時の農作業事故が一番多く発生していますので、気を付けて作業を行いましょう。